

<課題>

- 通常の学級における発達障害をはじめとする、配慮を要する児童生徒の増加や教育的ニーズの多様化
- 教員の子ども理解力や授業力の向上

<目的>

どの子にもわかる授業と静謐な教育環境をつくる

ユニバーサルデザインスクールとは？

特別支援教育の視点に基づく、障害があってもなくてもわかりやすい授業づくり（授業の構造化・視覚化・協働化等）や、誰もが過ごしやすい教育環境の整備（教室掲示の整備、整理・整頓等）、違いを認め合う学級経営をめざす学校

発達障害理解研究

- ・発達障害児の特性理解を深め、授業・学習環境のUD化の事例研・公開授業等に取り組む
- ・専門家を年間4回派遣する（15校）



- ・「堺UDサポートベース」（教員専用WEBページ）に実践内容や教材等の紹介をデータベースとして蓄積、共有し、発信する

チーム力の充実

学校のチーム力と教師力を発揮し、
学校全体で取り組む

- ①どの子にもわかる授業づくり⇒【授業のUD化】
- ②静謐な教育環境づくり ⇒【学習環境のUD化】

（ユニバーサルデザイン＝UD）

授業UD化推進研修

教員及び指導主事等を対象にし、それぞれ年間2回ずつ研修を実施する

教員の専門性の向上

発達障害児等専門家派遣

医師・専門家等を学校へ派遣し、アセスメントの実施や保護者・教員への助言を行う

授業UD化モデル研究
（発達障害児への
特別支援教育モデル構築）

- ・授業UD化のモデル構築に取り組み、全市に発信する
- ・モデル校を指定し、専門家を年間10回派遣する（2校）



- ・「堺UDサポートベース」（教員専用WEBページ）に実践内容や教材等の紹介をデータベースとして蓄積、共有し、発信する
- ・公開授業等により、堺市の全教員へ発信する

授業UD化
チェックシートの作成

<効果>

- 全ての子どもにとってわかりやすい授業づくりによる学びの基礎力の向上
- 静謐な学習環境の確立によるいじめや学級の荒れ等生徒指導上の問題減少
- 一人ひとりを大切にする学級経営・授業による子どもの自尊感情の向上
- 子どもたちが過ごしやすい教育環境を基盤に各学校の実態に応じた発展的な教育活動の展開